



空手スポーツ少年団に初の黒帯

長沼町空手スポーツ少年団（和田光一代表）に、初の黒帯が誕生しました。

昨年十二月に行われた新国際空手道荳原会館の昇段試験で、小林悟君（長沼小五年）と服部聖士君（長東小五年）が、見事少年の部の初段に合格、念願の黒帯を獲得しました。

中学生までに限定されている少

年の部は、初段が最高位とあって、自分の名前が刺しゅうされた黒帯を誇らしげに締めて、練習に励んでいます。二人は「下級生に教えて、黒帯を増やしたい」（服部君）、「今度は、一般の部でも段が取れるよう頑張りたい」（小林君）と、意欲を燃やしています。

おめでとう、今後も一生懸命練習して、心身を鍛えてください。



黒帯を締めて練習に励む小林君（左）と服部君（右）